

どろんこ綱引き大会

7月1日（日）岩美町岩井の旧岩井小学校前の休耕田を利用して「第3回どろんこ綱引き大会」が開催されました。

大会は岩井地区公民館（野澤宏彰館長）主催で、「子どもたちに綱引きを通じて楽しく水田の感触や地域のふれあいを感じてほしい」と企画しているもので、今大会には11チームが参加し、梅雨空のもと泥だらけになりながら綱を引き合いました。

ぬかるむ足元と相手の引き手の強さに泥田の中に倒れこむほどの熱戦に、見守る観客からも歓声があがっていました。綱引きの後は、暖かい岩井温泉のお湯で体の泥と疲れを洗い流し、親睦を深めていました。成績は『岩井二子ども会チーム』が優勝しました。



海水浴場開き



7月10日（火）、陸上の東浜海水浴場で町内3海水浴場（東浜、牧谷、浦富）合同の海水浴場開きが開催された。

安全祈願祭には、町観光協会関係者など約50人が参列し、玉ぐしをささげて海水浴シーズン中に水難事故がないよう祈りました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、神事の後には、岩美北小学校2年生、42人が元気に初泳ぎを楽しみました。

岩美病院 運営協議会が 開催されました

岩美病院の健全な経営を図るため、岩美病院運営協議会（構成

知識経験を有する者3人 公募者3人）を設置し必要な事項を調査審議することになっています。本年度も7月12日に第1回目の協議会が開催され、平成18年度の経営状況についての報告や平成19年度の病院運営についての協議（健全経営への取り組みなど）が活発に行われました。3階の介護療養型医療施設については平成23年度末で廃止されるので、現在、県等で



地域ケア整備構想が進められており、その策定状況を把握しながら、岩美病院としての運営方針を検討していくことになりました。

町陸上競技協会からお知らせ もっと町民グラウンド の活用を!!

町民スポーツの拠点である町民グラウンドですが、先に町内の学校の先生方から「トラックのスタート地点・ゴール地点が分からない」「踏切板が腐っていて使えない」「砂場が固くて使えない」というご指摘があり、町陸上競技協会（赤坂清志会長）は、町に改善を要望し、幸い教育委員会に対応していただけたこととなりました。

「陸上競技協会で作れることは…」と考へ、去る6月30日（土）朝7時より、協会員10名が出て、6トン分の砂を入れ替えました。



現在、中学生の中には、県でトップクラスの生徒もおり、陸上競技協会でも、これを機により多くの児童生徒に、あらゆるスポーツの基礎となる陸上競技に、もっと親しんでもらおうと、その活用を呼びかけています。